

案

令和5年1月●●日

名張市長 北川 裕之 様

名張市総合計画審議会
会長 石阪 督規

名張市総合計画について（答申）

令和4年7月5日付け名企第150号により本審議会に諮問のありました名張市総合計画について、慎重に審議した結果、下記の意見を付して別添のとおり答申します。

記

1. 名張市総合計画「なばり新時代戦略」に基づくまちづくりの実現に向け、「基本理念」及び「10年後の目指す姿」の趣旨と内容を、庁内関係部局のみならず、様々な機会を通じてあらゆる世代に対して広く周知し、市民との情報共有・意識共有を図るよう努められたい。
2. 名張らしさを生かした個性的で持続可能な未来を目指すため、これまで進めてこられた地域共生のまちづくりを大きな土台とするとともに、若い世代がまちの将来に関心を持つ仕掛けや仕組みを構築し、これまでの取組が次世代に引き継がれるよう努められたい。
3. 今後の人口減少・少子高齢化により、市税収入の減少や社会保障関連経費の増加が懸念され、また、老朽化する公共施設やインフラへの対応等、市の財政運営は不透明で厳しい状況が続くと予想されるが、将来にわたり持続的な行財政運営を実現するため、総合計画の着実な推進とともに、次世代が安心できる行財政基盤の構築に努められたい。
4. 計画の推進にあたっては、今後見込まれる人口減少・少子高齢化が引き起こす諸問題に的確に対応するため、必要に応じた組織体制の整備をはじめ、実効性のある計画の進行管理、事業等の優先順位付けを行うなど、まちづくりの成果として結実できるよう努められたい。

その他、審議過程において出された各施策等に対する個別の意見・要望等についても、十分検討されるようお願いいたします。